

毛利元就没後450年記念特別展



毛利VS大友



— 海峡の戦国史 第2章 —



2021年9月17日(金)～11月7日(日)

※会期を前期:9月17日(金)～10月10日(日)、後期:10月12日(火)～11月7日(日)とし、展示品の入れ替えを行います。

ミニ講座 ①「毛利氏の下関進出」 ②「毛利元就と大友宗麟」 ③「毛利氏と大友氏の外交戦」

【日 時】 ①9月19日(日)・22日(水)・25日(土)・29日(水)
②10月14日(木)・16日(土)・20日(水)・24日(日)
③10月27日(水)・30日(土)・11月4日(木)・7日(日)
※時間はいずれも10:30～11:30

【定 員】 20名(要予約・先着順、連絡先083-241-1080)
※9月4日(土)9時30分より
電話及び博物館受付にて予約受付開始

【参加料】 300円

【場 所】 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、内容の変更、延期、中止の可能性があります。

イベント

SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

下関市立歴史博物館

〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号
TEL.083-241-1080 FAX.083-245-3310

【開館時間】 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

【休 館 日】 月曜日(9月20日は開館し、9月21日に休館)

【観 覧 料】 一般 500円[400円]、大学生等 300円[240円]

※[]内は20名以上の団体料金 ※下関市内在住の65歳以上の方は250円

※18歳以下、障害者手帳をお持ちの方、高等学校、中等教育学校、

特別支援学校に在学の生徒は無料

【駐車料金】 最初の2時間まで1時間ごとに100円、

最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

【駐車台数】 一般26台、身障者用2台

16世紀の半ば、安芸の毛利元就が長府の長福寺（現功山寺）で大内義長を自害に追い込み、大内氏を滅亡させました。赤間関（下関）の新たな統治者となった毛利氏は、大内氏の統治システムを継承しつつ、領国支配を展開していきます。

毛利氏が赤間関に進出した頃、北部九州では豊後の大友義鎮（宗麟）が勢力を拡大していました。大友氏と対立して領地を追われた人々は助けを求めて海峡を渡り、毛利氏が彼らの要請に応じたことから、毛利氏と大友氏は北部九州をめぐって激しく争うこととなります。一進一退の攻防が続くなか、元就は後継者である長子隆元を喪うなど、次々に苦難に見舞われました。大友氏との決戦がせまるなか、晩年にさしかかった元就は、病身をおして自ら出陣し、長府で軍勢を指揮することとなります。

本展示は、毛利元就の没後450年を記念して開催するものです。展示資料を通じて、生涯最後の決戦に臨んだ元就の覚悟に思いを馳せてみてください。



豊前今井元長船戦図（大分市歴史資料館蔵）

府内古図（大分市歴史資料館蔵）



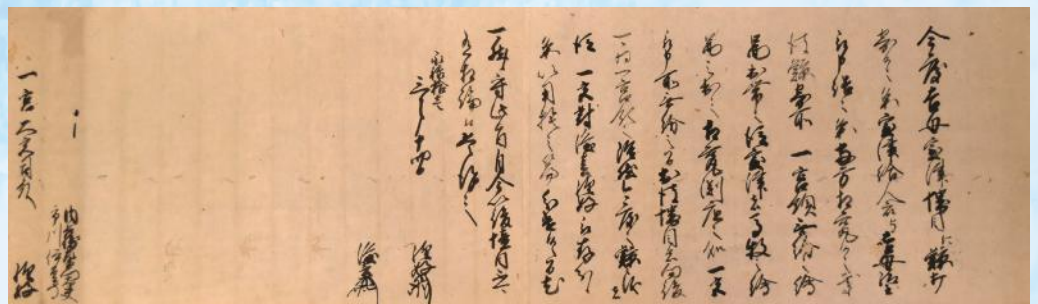
豊後国府の流れを汲む大友氏の本拠地を描く！

南蛮文化の遺風を伝える工芸品！



花鳥紋時絵螺鈿洋櫃
（大分市歴史資料館蔵）

毛利氏と大友氏の間で展開された船合戦の様を描く！



市川経好・内藤隆春連署書状
（住吉神社蔵） ※前期のみ！

海岸に鯨が漂着！毛利氏を巻き込んだ所有権争いの結果はいかに！

情報発信中！



担当学芸員のオススメ！

- 第1章を見ていない方も安心の振り返りコーナーを用意！
- 北浦に漂着した鯨、小倉城の誕生など、関門地域に関するさまざまなエピソードを紹介！

下関市立歴史博物館学芸員 岡松 仁



SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号
tel.(083)241-1080 fax.(083)245-3310

<https://www.shimohaku.jp>

交通のご案内

